

令和2年度 第9回Web理事会報告

日 時：令和3年2月10日(水)

14:05～16:00

場 所 Web会議

出席者 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事、中島、古屋各監事

欠席者 村岡理事

1. 開 会

冒頭、八木原会長から「先般2月3日に開催されたJOC臨時評議員会に出席した。組織委員会の森喜朗会長の演説も聞いた。その夜は発言について特にニュースはなかったが、翌朝はメディアが大騒ぎ、午後は謝罪会見になった。出席していた評議員も批判されていたので、謹慎している。」と挨拶。

続いて事務局長から理事22名、監事2名の出席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

2. 議 題

(1) 議案第1号 議事録の承認について

令和2年度第8回(1月)理事会議事録の承認について(事前送付済)

事前にメール送付しており、全員異議なく承認された。

(2) 議案第2号 役員候補者選考委員について

尾形専務理事から資料に基づき以下の9名の委員候補者の提案があった。

採決の結果、議案第2号は、議長を除く出席理事21名全員の賛成により、原案どおり可決承認された。

<役員候補者選考委員>

溝手康史(国立登山研修所専門調査委員・弁護士)、神崎忠男(前会長・顧問)、古屋壽隆(山梨県山岳連盟顧問・監事)、

山口純子(ガバナンス委員会主管理事・学識経験者正会員)、合田雄治郎(SC部長・学識経験者正会員)、亀山健太郎(副会長・東京都山岳連盟正会員)、小野寺齊(総務部長・事務局長・学識経験者正会員)、古賀英年(登山普及委員会主管理事・兵庫県山岳連盟正会員)、山本譲(技術委員会主管理事・学識経験者正会員)

(3) 議案第3号 令和3年度事業計画(案)について

小野寺常務理事から資料に基づいて提案があった。総論の文言一部加筆・訂正及び事業計画の訂正があり、3月理事会で正式決定となる。

(4) 議案第4号 参与の推薦と賛助会員入会承認について

小野寺常務理事から資料に基づき(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟名誉会長・京才昭氏と同会長・山田雅昭氏の参与推薦が提案された。

採決の結果、2名の参与推薦は、議長を除く出席理事21名全員の賛成により、承認された。

続いて賛助会員に関する規程第2条第1項第2号の定款第28条に規定する参与の賛助会員の入会承認が諮られた。

採決の結果、2名の賛助会員の入会が、議長を除く出席理事21名全員の賛成により、承認された。

(5) 議案第5号 指導員の認定について

蛭田理事から資料に基づいて以下の認定承認が諮られた。

<山岳コーチ1>

東京都山岳連盟：土井根忠志、望月肇

茨城県山岳連盟：堀香奈、津田裕一、藤田恒夫

福島県山岳連盟：長谷川裕

採決の結果、上記6名の認定承認が、議長を除く出席理事21名の賛成により、原案

通り承認された。

(6) 議案第6号 定款の一部改定について

合田常務理事から資料に基づいて以下の提案があった。

定款では第9条で除名を規定しているが、倫理規程第4条第2項では、永久追放、除名、戒告を規定しており、定款と倫理規程の整合性が取れていないのではないか、との指摘が加盟団体からあった。ガバナンス委員会で検討した結果、定款第9条第1項に「なお、事案の重大性によっては、以後入会を認めないことができる。」を加筆する改定案が諮られた。

採決の結果、議長を除く出席理事21名のうち、賛成20、反対1(丸副会長、理由：変更の必要なし。)の賛成多数で可決承認され、6月の定時総会に諮られることになった。

(7) 議案第7号 全国理事長会議質問事項(3都府県)の回答について

3都府県の質問について回答する担当者が承認された。

3. 報 告

① 報告第1号 1月度月次会計報告

相良理事から資料に基づいて報告があった。

中島監事から今年度の協賛金の減額の有無について質問があった。

尾形専務理事から協賛金の減額は一社55万円のみとの返答があった。

コロナ禍による競技大会の中止等に伴う経費減少から生じた令和2年度の黒字分の扱いについては、予算委員会でも改めて審議したい。

② 報告第2号 中期計画PT途中経緯について

亀山副会長から口頭で報告があった。

③ 報告第3号 令和3年度予算経過報告について

尾形専務理事から資料に基づいて報告があった。

予算委員会で審議してもらう内容であり、事前に理事会に現状経過を報告する。いまのところ収支プラマイゼロの予算案になっている。令和2年度決算は黒字が予想され、将来の特定事業に充てるため特定費用準備資金を積み立てて貸借対照表に計上したい。今後5年間の特別事業に使っていききたい。令和3年度の予算は、2,000万円程度の赤字予算として、3/11の理事会に諮りたい。

④報告第4号 国体競技施設規定のIFルール準拠への訂正について

水村理事から報告があった。合田常務理事が補足した。常務理事会では「4 競技場の基準」の文言に主語が抜けているので、主語を加筆することで、全員一致にて承認されており、この点については西原国体委員長に確認する。

⑤報告第5号 スピード種目に関する規定改定について

合田常務理事から、本協会の主催大会だけでなく、共催大会の記録も有効とするために、後援を外して「共催」を追加したとの報告があった。常務理事会で承認。

⑥報告第6号 IFSC会長からの要請について

平山副会長から資料に基づいて報告があった。どのような形でIFSCとJMSCAがポジティブな方向で国際貢献するかについて、SC部で提案するとのこと。

⑦報告第7号 2021年ボルダリング日本代表選考について

古林理事から資料に基づいて8名の日本代表追加選手が報告された。常務理事会で承認。

⑧報告第8号 ユース選考基準について

古林理事から資料に基づいて選考基準

の報告があった。常務理事会で一部修正で承認。

⑨報告第9号 2020年スポーツライミング日本代表選手への協会補助金について

古林理事から資料に基づいて総額200万円の配分報告があった。常務理事会で承認。

⑩報告第10号 高校指導者ブロック別研修会について

前田理事から資料に基づいて開催要項の報告があった。

⑪報告第11号 スポーツライミングブロック/都道府県代表コーチ一覧について

古林理事から資料に基づいて報告があった。(石川県コーチは、富山県コーチが兼務との修正在り)

⑫報告第12号 第16回BJC(駒沢)報告について

村上理事から報告があり、平山副会長から補足があった。蛭田理事から、数県が開催反対をしており、意見書を提出していた。その報告を聞きたいとのことで、尾形専務理事より回答があった。該当県に意見書に対する回答書を送った。来場者全てにPCR検査も義務付けた。回答書は登山月報にも掲出した。大会終了後3日に業者の一人が陽性になったとの報告を受けた。この業者は選手・スタッフに接触履歴はなく、濃厚接触者は運転手の1名のみ。来場者の体調管理(Metellアプリを利用)については継続観察中であるが、今のところ発症の報告はない。PCR検査のキットは220本確保した。1本が8800円であった。3月6日開催予定のSJCも、緊急事態宣言継続中であれば、PCR検査は義務付けるつもりである。

4月の山岳スキー日本選手権でも後日相談したいとの事。

丸副会長から大会施設について質問があった。これについては村岡大会実行委員長に確認することになった。

⑬報告第13号 第3回SJC(亀岡)について

尾形専務理事から資料に基づいて開催要項の報告があった。

⑭報告第14号 第34回LJC(印西)について

尾形専務理事から資料に基づいて日程変更した開催要項の報告があった。

⑮報告第15号 スポーツライミングイベントスケジュールについて

尾形専務理事が概略説明を行った。CJCの日程については5/15,16になっていたが、6/5,6への変更を岩手県と調整中。これは6/5,6予定のIFSCのWCが別日程になり、空いたため。国内では5月末にLYCを予定しており、CJCの後2週間でLYCを行うのは日程的にきついと判断したため。

⑯報告第16号 役員派遣について
(2月11日(木)~3月11日(木))

①ジュニア・普及情報交換会 2月13日(土)16時~18時 於:オンライン 八木原会長他

②全国理事長会議 2月14日(日)9時~12時 於:オンライン 八木原会長他

③第11回富士山利用者負担専門委員会 2月16日(火)14時~ 於:オンライン 尾形専務理事

④JOC第2回総務本部会 2月25日(木)14時~ 於:オンライン 尾形専務理事

⑤第3回SJC 亀岡大会 3月6日(土) 於:グラビティリサーチ サンガスタジアム by KYOCERA 平山副会長。村岡理事

⑥JOC選手強化本部会 3月9日(火) 於:オンライン 合田常務理事